

長時間労働是正を図るための課題と方向性

- 長時間労働を是正するための課題として、下記のような3つの課題が指摘されています。
- これに対して、各企業や関係団体・行政が一丸となって、①～⑤の対策を進めていくことが重要です。

【課題1】

人手不足の中で長時間労働是正が困難

【課題2】

業務そのものの合理化・効率化への切り込みが弱い

【課題3】

取引先との関係で長時間労働是正が困難

【方向性①】 生産性の向上

処理すべき業務を、人手不足状況下で残業なしに処理するためには、労働生産性(＝労働者1人あたり1時間あたりの付加価値(成果))を高めることが必要(次のページ参照)

【方向性②】 人手不足対策

残業の発生を最小限にするために必要な人手を確保することが必要

【方向性③】 取引条件の改善

中小企業・下請企業の労働者の労働時間にしわ寄せがいかない、適正な取引関係を構築することが必要

【方向性④】 個別的支援

雇用管理や経営の手法に関する指導・ノウハウ提供や助成制度などの個別的支援

【方向性⑤】 業界別の取組

長時間労働を発生させている業界の特有事情に対する、業界ごとの対応

※ このほか、労働基準法等の
ルールの遵守のための指導
監督や啓発も強化